

滋賀県立高等学校再編計画(原案)説明会 意見概要 < 栗東会場 >

日 時 平成23年(2011年)8月13日(土) 10:00~12:10
場 所 栗東芸術文化会館さくら 小ホール(参加者38名:発言11名)
主 な 意 見 同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。

生徒が減少すれば、将来的にそういう方向性があれば、統廃合するのは当たり前。逆に増えれば学校を増やすのが当たり前のこと。

1学年あたり6から8学級を標準とする根拠は何か。1学級50人、1学年10学級で育ってきたが、その中で切磋琢磨する機会はなかった。だいたい4学級が理想的だと考える。

「6から8学級という標準を下回る学校が増加している地域」とあるが、入試制度が全県一區でどこでも受けられることから、この分析はおかしい。入試の地域を限定してやるべき。

多様な学習・学べる学校とかプラス面の評価もたくさんあるが、魅力ある学校の一番の魅力は人だと思う。小中学校の35人学級が進んでいるが、高校においてももう少し人数を減らして教員が目配りできる魅力ある学校づくりは考えていないのか。

今後、人口は減っていったお金もない。行財政改革の一環として、再編も積極的に考えていくべきだと思う。

定時制には家庭的、経済的背景で問題を抱えている子や外国籍の子が多い。そういう子が知らない地域の能登川高校へ行くかという疑問に思う。

北部定時制3校を廃止して、能登川に行けというのは乱暴と思う。困難なところに光を当てるのが教育。慎重な議論を重ねて結論を出して欲しい。

生徒数は、ここ10年は増減を繰り返しながらそんなにも変わらない。長期的には減りそうという中で、この時期に急いで統合する必要はない。

彦根翔陽高校の校地に新高校が設置されるのは、面積だけが理由なのか。彦根西高校の跡地利用はどう考えているのか。

彦根西高校と彦根翔陽高校を統合するメリット、デメリットは何か。

彦根西高校は、学びの共同体という良い実践をしているのに、校舎をつぶして引き継いでいけるのか疑問に思っている。

農業高校は4学級から3学級となっているが、現状維持の4学級としてほしい。部活や交流など考えると最低4学級ないと支障がある。生徒募集にも影響すると心配している。将来の統廃合の対象とされる可能性があるのではと危惧している。

福祉健康コースを石部高校に置き、それが核となるのであれば良いことだと思うが、全県一学区や中高一貫の影響で現実には本当に大変な状況。福祉健康コースを設置して、本当に生徒が集まる見通しがあるのか。

福祉の現状は今厳しいので、福祉の専門学校も募集が少なくなっていると聞くと、滋賀県の高校の福祉コースの現状はどうなっているのか。

ノーマライゼーション、特別支援学校との交流とあるが、特別支援学校の資料がないのはなぜか。障害児を含めた高等教育を考えるのなら、是非資料に入れて欲しい。

特別支援の高等部が増えているのは、大津、湖南地域と聞いている。むしろ膳所高校、大津高校、草津東高校などに併置するなら分かるが、空いた教室に併置する感じがする。

養護学校には、不登校、いじめにあったとか、自分を肯定的に見られなかった子どもたちがたくさんいる。基本計画の中に学校生活に適応できなくて退学とあるが、養護の子ども同じように考えてほしい。養護学校の子どもたちの自己実現についてどのように考えているのか。

なぜ伊吹高校に分教室2学級、石部高校に3学級なのか。三雲に知的軽度の子はそんなにいない。

障害者権利条約、障害者自立支援法の改正など、障害のあるなしに関わらず、一緒に学ぶことを保障していかなければならないという方向がでている。高校との交流で問題が出るのではないかという不安は、小中学校で分けておいて、高校で突然一緒になるから不安なのである。最初から一緒に学べるようにすることは考えていないのか。そうすれば爆発的に増えている特別支援学校の対応も解決する。

通学区域の変更を考えているのか。養護学校を新設しなければ、今後6年間で200名特別支援学校の生徒が増えていくところで、全然問題の解決にならない。

養護学校に分教室について、神奈川県にその例があるが、実はデメリットが多くある。

高校を借りて使わせてもらうということでは、高校の都合で使えないこともあるのではないか。神奈川県は緊急避難的措置だと言っている。仮住まいというのは障害児に対する差別。分教室の案は問題がたくさんあるので反対。

甲南と長浜は同一敷地内で高校と高等養護学校があるので、その実践の成果とかメリット、デメリットをはっきり出して欲しい。

分教室と本校と教育の質の差があっては困る。

交流という聞こえが良いが、分教室をわざわざ持ってこなくても、地域に出て行って地域資源を生かした交流、活動をしてはいけないのか。

中高一貫教育校は、地域の学校にどんな影響を与えているのか。影響が大きいから作らないのであれば、今ある3校も見直すべきではないか。

全県一区に批判的な人がいるが、どこの学校へ行こうが自由。そんなことを言っていると京都の私学との競争に負ける。全県一区は賛成。

全県一学区、特色選抜、中高一貫教育について、しっかり総括し、それを踏まえて再編をするべき。

これまでの説明会で、反対意見や疑問の声がずいぶんあがっている。新聞を見ていると、長浜市も市長を先頭に反対している。信楽も反対運動が起こってきている。

昨年、周知が足りないということで、計画策定を1年遅らせたがその状態は変わっていない。これだけ反対が多いのだから、また遅らせて、ゆっくり検討してはどうか。今急いでやるべきことは、特別支援学校の増設である。

こういった改革には総論は賛成なのに、自分に直接関わってくると反対となる。長浜市長や彦根市長は反対が民意と言っているが、これは長浜、彦根の意見であって、県全体の意見とはとても思えない。4クラスが良いという意見があったが、やがて3クラス2クラスになって統廃合するとなったら、また反対されると思う。

効率化だけでいいのかという意見があるが、ある程度効率化は必要である。公立学校は税金でなりたっているのだから非効率、税金の無駄遣いは困る。効率化だけで決めていいのかというのは、逆に今非効率だということを認めていること。改革はしてもらわないといけぬ。

効率という話があったが、数が少なくても子どもが必要としている教育がある。子どものことをしっかりと考えた教育であって欲しい。

高校の統廃合によって高校の教員数が減るのではないかと思っている。どのくらい減ると思っているのか。教員養成機関との合意は図っているのか。どのように図る予定なのか。